

令和2年度 認定こども園帯広の森幼稚園

自己点検・評価シート

1) 認定こども園帯広の森幼稚園の教育目標

自然や身近なものに関心を持ち、遊びを中心とした生活を通じて、21世紀をたくましく生きぬく幼児の育成を目指す。

- ◎丈夫な体の子どもを育てる
- ◎仲良く遊べる子どもを育てる
- ◎自分で考える子どもを育てる

【めざす子ども像】

『生きる力を身につけた 明るく たくましい子ども』

生きる力⇒丈夫な体、豊かな心、考える力

2) 本年度の重点的に定めた教育目標

- ・豊かな自然を活かした幼稚園運営を行う。
- ・子ども・保護者・教職員が安心して自分の力を発揮できる人間関係の構築を図る。
- ・子どもの実態や課題、保護者や地域の願いを捉え、幼稚園教育にかかわる様々な人たちの参画を得て、教育目標の達成を目指す。
- ・子どもの成長を大切にしたい園行事の充実・保育内容の実践に努める。

3) 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目		評価結
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、保育方針や計画（内容）を保護者に伝えてはいますか ・幼稚園は、一人一人の子ども達を理解し、子ども達に寄り添った保育を行っていますか ・幼稚園は、子ども達の個性や特性を大切に、意欲や主体性を育む保育を行っていますか 	B (4.0)
園の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、職員間の信頼関係・協働関係・共通理解を大切にしていますか 	C (3.6)
研修・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、園内研修の計画・運営は適切に行っていますか ・幼稚園は、各種研修会や講習会への積極的な参加に努め、報告・交流活動を行っていますか ・幼稚園は、挨拶や返事など、基本的な生活習慣の指導に努めていますか 	C (3.9)
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、「園便り」「クラス便り」「ホームページ」等で園の情報を発信していますか ・幼稚園は、子ども達の幼稚園での様子を保護者に伝えてはいますか 	A (4.5)
保健・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、遊具や用具等を活用しやすいように整理・保管していますか 	B (4.0)
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、保護者の意見を園の運営に反映していますか ・幼稚園は、保護者との共通理解に努め、誠意を持った対応に努めていますか 	B (4.2)

子育て支援	・幼稚園は、参観日や行事などを通じて、開かれた幼稚園づくりに取り組んでいますか	B (4.1)
預かり保育	・幼稚園は、預かり保育を安心して利用できるよう努めていますか	B (4.2)
環境整備	・幼稚園は、園内外の環境整備に努めていますか	C (3.7)

自己評価結果の表示方法

- A：大変良い（4.5点以上） B：良い（4.0点以上）
 C：一部検討が必要（3.5点以上） D：改善が必要（3.4点以下）

4) 今後の課題と評価

教育課程	1ヶ月半の休園期間はあったが、教育課程・指導計画・年間計画は概ね実践することができた。行事については、中止や延期等もあったが、例年とは違った形で実施できた。来年度は前年度の反省をもとに計画をするよう努める。
園の運営	全体で活動内容や行事等の確認をしながら、保育を進めてきた。「報告・連絡・相談」を大切にしながら情報の共有化を図り、協働体制で取り組みを進めてきたが、会議の進め方等、もう少し工夫が必要。
研修・指導	実施される研修のほとんどがオンデマンドとなり、例年よりも多くの研修に参加することができた。今後も積極的に研修へ参加し、資質の向上に努めていく。
情報提供	日々様子を伝えることが難しい1年だったが、各種お便りやホームページ等を通じて、保護者に向け情報の発信に努めた。また、休園期間に開設したYouTubeへの動画投稿は、実際に様子を見るのが出来ない保護者にとっては好評だった。
保健・安全管理	掃除や整理整頓・掲示等の環境美化に努めるとともに、特に手洗い、消毒、うがい等の保健・衛生にも配慮して指導してきた。
保護者・地域との連携	今年度は保護者と直接会う機会が極端に少なく、関係性を築くことが難しかったが、連絡ノートや電話連絡等、子ども達の様子を伝えられるよう心掛けた。また、要望や意見などはPTA役員と連携し、協力を図りながら運営に努めてきた。
子育て支援	参観は1月の1度だけになってしまったが、子ども達の様子を保護者に見てもらうことができたことは良かった。未就園児教室や幼稚園で遊ぼうよも、形を変え、工夫をしながら実施・開催できた。来年度も引き続き取り組んでいく。
預かり保育	異年齢との関わりを通じて、活動の内容を工夫し、楽しめるよう実施した。早朝・午後保育、土曜日や長期休業も含め、保護者のニーズに応えられた。
環境整備	毎日の日常点検と半年に1度の定期点検を行い防犯等に取り組んできた。不審者等に対する対策は、園児玄関の電子錠により一部改善されるが、敷地内への侵入に関しては、今後も危機感をもって取り組んでいく。

令和3年3月20日
 学校法人帯広葵学園
 認定こども園帯広の森幼稚園
 園長 今野 隆雄